



(お知らせ)

29.2.23
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（フォレスト・ライト02）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり日米共同訓練（国内における米海兵隊との実動訓練）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図る。

2 期間

平成29年3月6日（月）～3月17日（金）

3 場所

関山演習場、相馬原演習場及び相馬原駐屯地

4 担任官

(1) 陸自側：第12旅団長 陸将補 清田安志

(2) 米軍側：第3海兵機動展開部隊第3海兵師団長

少将 クレグ Q ティンバーレーク (Craig Q Timberlake)

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

ア 部隊

第12旅団第30普通科連隊基幹（約300名）

イ 装備品

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、12.7mm重機関銃、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲RT、01式軽対戦車誘導弾、中距離多目的誘導弾、M24対人狙撃銃、航空機（UH-60、CH-47、AH-1S）等

(2) 米海兵隊

ア 部隊

第4海兵連隊の1個中隊基幹、航空部隊等（約450名）

イ 装備品

5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、7.62mm狙撃銃、60mm迫撃砲、81mm迫撃砲、対戦車ロケット砲、航空機（MV-22、CH-53）等

※ MV-22及びCH-53に係る訓練は、沖縄県の負担軽減のため、今般、沖縄県から移転されるものです。

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 木全、片出（担当）

(03-3268-3111 内線40083)